

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2021年1月20日

第6回サステナブルファイナンス大賞「優秀賞」を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、今般、一般社団法人環境金融研究機構[※]（RIEF）が実施する第6回サステナブルファイナンス大賞において、優秀賞を受賞しました。

当社は、2020年3月に大災害債「Akibare Re 2020-1」をアジア所在の保険会社として初めてシンガポールで発行し、お客さまへの安定的な保険カバーの提供につながる新たなモデルケースを開拓したことが評価されました。

三井住友海上は、今後も再保険やリスクの証券化を活用し、経営健全性の向上に努めていきます。

1. 「サステナブルファイナンス大賞」について

環境問題を金融的に解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を行う環境金融研究機構（RIEF）が日本の金融市場で環境金融商品・サービス・取り組みを行う金融機関、企業等々を評価・支援する表彰制度です。

2015年から始まった本表彰制度は、今回で6回目となります。



2. 当社の受賞概要

- (1) 賞の名称：優秀賞
- (2) 取組内容：シンガポールで大災害債「Akibare Re 2020-1」を発行
- (3) 受賞理由：当社の受賞理由は、以下のとおりです。

- ・アジアに所在する保険会社として初めて、シンガポールにおける大災害債を発行し、新たなモデルケースを開拓した。
- ・気候変動により増大する自然災害リスクに対して、再保険カバーの調達手段を従来の再保険市場に求めるだけでなく、資本市場の積極的な活用により、再保険カバーの調達手段を多様化させた。この結果、長期・安定的な再保険キャパシティの確保を可能にし、お客さまへの安定的な保険カバーの提供に貢献した。

3. 今後の展開

当社は、今後も再保険やキャットボンドの適切な活用を通じて、リスク管理を強化し、経営の健全性向上に努めていきます。

【ご参考】一般社団法人環境金融研究機構（RIEF）

一般社団法人環境金融研究機構は、2015年3月に非営利団体として発足し、日本の金融機関のESG（環境・社会・ガバナンス）活動をウォッチする情報発信を中心に、サステナブルファイナンス大賞の選定等も行っています。

<https://rief-jp.org/>

以上